

第4分科会 豊かな人間性

研究課題：豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント

みんなと創る「笑顔あふれる日本一楽しい学校」の実現

～「人権・道德教育×ふるさと学習×キャリア教育×特別活動」の充実～

提案者 北広島町立大朝小学校長 大丸 哲男

1 はじめに

新庄小学校は151年の歴史と伝統を誇り、多くの人々に愛されてきた。しかし、昨年度末にその幕を閉じ、その精神は新たに大朝小学校へと受け継がれた。

新庄小学校では、「安全・安心・愛情」に基づいた教育理念のもと、自己肯定感を高め、主体性や協働性を育む教育を推進してきた。特に「人権・道德教育×ふるさと学習×キャリア教育×特別活動」を柱に、地域と連携した学びを深め、豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントの充実を図ってきた。

2 研究の概要

(1) 「人権・道德教育」による人権意識の醸成

① 「いじめの問題」についての共通認識

安全・安心な学校を実現するためには、「いじめは絶対に許さない」という学校風土の醸成が不可欠である。

年度当初の全校朝会で、校長がいじめの定義や解決方法について講話を行い、児童は意見交流を通じて振り返る。この経験を通じて、「いじめをなくしたい」と決意する児童や、人を幸せにする生き方を考える児童が見られた。

講話の内容は学校便りに掲載し、保護者会でも繰り返し伝えることで、学校と児童・家庭・地域の間で共通認識を図るとともに、いじめの早期発見・早期解決、未然防止につなげてきた。

② 豊かな人権感覚や道德性を育む取組

いじめが生じやすい6月、11月、2月には、児童主体の「人権集会」を計画的に実施してきた。「人権絵本の読み聞かせ」「いじめの寸劇」「いいところビンゴ」「ふわふわ言葉集め」などを企画・運営し、児童自身が人権の大切さを学び、考える機会を繰り返し設けてきた。

また、「全校道德」では、異年齢集団の中で多様な価値観に触れ、学びを深めることを大切にしてきた。さらに、教職員も「にっこり玉手箱」などの取組を通じて、児童の良さや成長を見取り、価値付けることで、豊かな人権感覚と道德性を育んできた。

(2) 「ふるさと学習」による郷土愛の醸成

① 地域の宝を未来へ受け継ぐ

地元保存会の指導のもと、長年にわたって、伝統芸能「新庄のはやし田」(H9国重要無形民俗文化財)や「南条おどり」(S28県無形民俗文化財)を全校児童で継承してきた。その成果は、地域の誇りになっている。

閉校後も、児童は、この伝統を未来へ繋ぐため「新庄の伝統芸能を残そうプロジェクト」を立ち上げた。探究的な学習を通じて、伝統芸能の魅力を再発見し、広く発信することで、伝統文化を尊重する態度を育んできた。

② 地域自慢の赤米を宮島へ

高学年の総合的な学習の時間では、「赤米作り」

の農業体験を行い、収穫した赤米を新庄地域とゆかりのある宮島へ奉納し、販売してきた。

児童はパンフレットを作成し、地域や赤米の魅力や育成過程を発信。販売当日には、日本語が通じない外国人観光客にも勇気を出して声をかけて「初対面の人にも笑顔で販売できた」「あきらめずに話しかけた」などと自信を深めた。

このような「ふるさと学習」を通じて、児童は地域の伝統文化や自然の素晴らしさを実感し、ふるさと新庄への愛着と誇りを育んだ。地域の行事にも積極的に参加し、地域貢献しようとする姿勢も身に付けてきた。

(3) 「キャリア教育」による主体性の育成

中学校区において育成したい資質・能力として「一歩前に踏み出す力」（主体性）と「チームでやり遂げる力」（協働性）を設定し、授業や学校行事の改善に取り組んできた。

出前授業では、地域の外部講師による講話を通じて、児童は様々な職業の生き方や考え方に触れ、自分の将来を考える機会を得た。

研究授業では、「ルーブリック評価表」を作成し、教師は児童の資質・能力をより明確に把握することで、児童の主体的な学びを育んだ。

学校行事でも、児童が自身の目標を設定して取り組むことで、主体性や協働性が高まった。

(4) 「特別活動」による豊かな心の育成

特色ある教育活動として「サッカー大会」「学校キャンプ」「可愛川の自然に親しむ会」「百人一首大会」など、ワクワク感のある楽しいイベントを数多く仕掛けてきた。

6年生のA児は、4年生の時に百人一首を全て覚え、校内大会で堂々の2位を獲得。「やればできる！」という自信を得たことで、友達と積極的に関わり、人を思いやりながら目標に向かって努力するなどの豊かな心を育んだ。

こうした特別活動を通じて、児童は自分の良

さや成長を実感し、自信を持って主体的に行動する力を養っていった。

3 校長の役割

(1) 教育ビジョンの共有と方向性の確立

地域・保護者・教職員とともに教育ビジョンを共有し、共感を得ながら価値付けや方向付けを行い、一体感をもった学校づくりを推進する。

(2) 対話と感謝による信頼関係の構築

地域の「ヒト・モノ・コト」を理解し、対話と感謝の気持ちを大切にしながら連携を強化することで、信頼関係の構築を図る。

(3) 笑顔・信頼・やりがいの追求

児童が安心して過ごせる環境、保護者に信頼される学校、教職員がやりがいを感じる職場づくりを通して、学校全体の雰囲気を向上させる。

(4) 適材適所と信頼に基づく役割分担

職員それぞれの強みを生かした配置や役割分担を行い、信頼して任せることで、学校全体の活性化を図る。

(5) 豊かな体験活動の促進

地域との交流や多様な体験活動の場を通じて、児童が様々な人々との関わりを深めることで、豊かな人間性を育むことを目指す。

4 おわりに

新庄小学校では、児童や保護者からの高い満足度を得ながら、いじめの未然防止を実現し、安全で安心して学べる環境を整えてきた。

この取組は、統合後も大朝小学校に受け継がれ、自己肯定感を高めつつ、豊かな人間性の育成に力を入れている。

統合によって、2つの学校の特色が一体化し、地域の魅力を生かした新しい歴史が始まっている。地域・保護者・教職員が一丸となり、「明日が待ち遠しくなる！『笑顔』と『わくわく』があふれる楽しい学校」を目指し、夢と希望に満ちた新たな歩みを進めている。